

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-1-5	事務事業名 保谷駅周辺景観づくり事前調査	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	-------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 地域の特性をいかし、自然と都市機能の調和した良好な都市景観形成の誘導を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)住みやすい住環境の創造(安1-1) (主要施策)良好な景観整備
	実施内容、実施方法 保谷駅北口まちづくり懇談会の開催	根拠法令等 東京のしゃれた街並みづくり推進条例
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 懇談会の開催回数	活動指標の考え方(定義) 懇談会を開催した回数
	成果指標名 事前調査結果報告書作成部数	成果指標の考え方(定義) 景観づくり事前調査報告書を作成した部数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	0	0
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源					0
	所要人員(B)	人			0.3	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	2,498	0
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	2,498	0
	単位当たりコスト (E)=(D)/( 懇談会の開催回数 )	千円	0	0	1,249.20	0
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			5	
	実績値	回	4	2	2	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	部			0	
	実績値	部			0	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	地元住民と市との協働作業が必要

コード 8-1-5	事務事業名 保谷駅周辺景観づくり事前調査	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	-------------------------	--------------------

	項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて不十分	懇談会を2回開催したが目標を達成できなかった。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	地元住民の個々の意見がバラバラでまとまらなかった。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	事前調査報告書が作成されず、財源を有効活用できなかった。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	懇談会の開催について、地元権利者に対して個々に参加を呼びかけた。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	地元住民の総意が得られず、事前調査が出来なかった。今後は地元住民の要望が湧き上がった時に再度事前調査をする必要がある。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。